

授業 科目名	【G】	進路指導論	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
	【H】	進路指導論			【H】2		【H】2	
	【I】	進路指導論			【I】2		【I】2	
科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目 【H】 教員の免許状取得のための必修科目 【I】 教員の免許状取得のための必修科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
サブ タイトル	なぜから始まる進路指導～中・高等学校における進路指導の理論と具体的指導法～			担当者	松浦 明博			
授業概要	【概要】	なぜ進路指導は必要なのか？ なぜキャリア教育の必要性が叫ばれるようになってきたのか？、 など、根源的な問いに向き合い、主体的対話的な深い学びを通して、進路指導を中核とした生徒指導とはどうあるべきかについて考察させる。そして、青少年時代に、明確な目標(進路希望)を自分自身が持ち、また、生徒に持たせることの重要性を理解するための講義である。 さらに、中学・高等学校における進路指導の具体的指導法、とりわけ、現代的な課題であるフリーター、ニート防止のための効果的で実践的な指導法を講義と演習を通して学ぶ。 最終的には、教育活動全体を通じたキャリア教育の視点に立って、青少年に望ましい人生観や職業観、勤労観の育成を目指し、そのための人材養成を目的とする。						
	【到達目標】	①進路指導・キャリア教育について「教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付け」を理解している。 ②キャリア教育における現代的な課題や対策について自分の言葉で分かり易く説明できるようになる。 ③各級学校の「教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方」を例示することができる。 ④生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を例示することができる。 ⑤進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方、職場体験の指導法等について理解している。 ⑥キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を説明することができる。						
履修条件	教職志望者が望ましい。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【○】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	生活指導、道徳、総合的な学習の時間、特別活動論、教育行政論							
教科書	適宜資料を配布する。							
参考書	適宜紹介する。							
評価方法	毎回の講義・演習での積極的な姿勢・意欲・態度・発言・小レポート等【30%】・学習到達度(筆記試験等を含む)【70%】で評価する。							
フィードバック 方法(※)	提出された小レポート等に対して、次回の授業の導入部分でコメントする場合もある。また、個別にもコメントする。							
評価基準	上記授業単元の内容について理解し、それを適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」評価とする。理解や表現に不十分な点があれば、その程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。試験欠席など、評価不能の場合は「F」とする							

授業 科目名	【G】	進路指導論	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	進路指導論			【H】2		【H】2
	【I】	進路指導論	【I】2		【I】2		
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス、自己紹介シート、進路指導とは何か(進路指導と私)～なぜキャリア教育の必要性が叫ばれるようになってきたのか？～ 予習: 「自己紹介」と「進路指導の思い出」の内容をまとめる。(1時間) 復習: 進路指導とキャリア教育の位置付けを整理・理解する(1時間)						
2	なぜから始まる進路指導(基礎編①)～中学と高校での進路指導はどう違うか？および、進路指導を中核とした生徒指導とは？～ 予習: 中学と高校の進路指導について調べる。(2時間) 復習: 中学と高校の進路指導について整理する。(1時間)						
3	なぜから始まる進路指導(基礎編②)～なぜ教職を目指すのか？～ 予習: マズローの欲求説とキャリア教育を調べ、関連を考察する。(2時間) 復習: 進路指導と自己実現について整理する。(2時間)						
4	なぜから始まる進路指導(基礎編③)～なぜ「AIは教師にとって代われるか」という議論が生まれたか？～ 予習: AIによる進路指導について調べ考察する。(1時間) 復習: 教師とAIの進路指導はどう違うかについて整理する。(1時間)						
5	なぜから始まる進路指導(基礎編④)～なぜ受験勉強をするのか？なぜ就職をするのか？～ 予習: 自分は「なぜ受験勉強をしてきたか」についてまとめる。(1時間) 復習: 講義や発表されたことを整理する。(1時間)						
6	なぜから始まる進路指導(基礎編⑤)～学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方について学ぶ～ 予習: 自分の将来の就職希望をキャリア教育の視点からまとめる。(2時間) 復習: キャリア教育の視点と指導の在り方を例示することができる。(1時間)						
7	なぜから始まる進路指導(基礎編⑥)～進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を学ぶ～ 予習: 進路指導における家庭や関係機関との連携について調べる(2時間) 復習: 組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解する。(1時間)						
8	なぜから始まる進路指導(実践編①)～「進路だより」・「進路の手引き」等の作り方は？～ 予習: 進路だより・進路の手引きについての思い出を整理する。(1時間) 復習: 進路だより等では何が大事かについて考察する。(2時間)						
9	なぜから始まる進路指導(実践編②)～進路説明会(保護者向け・生徒向け)はどうするのか？また、エージェントを使う時はどうするか？～ 予習: 進路説明会(生徒向け)についての思い出を整理する。(1時間) 復習: 進路説明会では何が大事かを考察・整理する。(2時間)						
10	なぜから始まる進路指導(実践編③)～進路指導における地域連携や社会奉仕活動はどうあるべきか？～ 予習: 自分のボランティア活動や体験についてまとめる。(1時間) 復習: 社会奉仕活動を活用した進路指導の留意点を整理する。(2時間)						
11	なぜから始まる進路指導(応用編①)～就職指導(実業高校・進路多様校・進学高校等)はどうするのか？～ 予習: 職場体験、および各種の高校について確認する。(1時間) 復習: 就職指導の留意点(職場体験や地域連携の方法)を整理(2時間)						
12	なぜから始まる進路指導(応用編②)～キャリア・カウンセリング(就職指導・進学指導・留学等)はどうするのか？～ 予習: キャリア・カウンセリングの基礎について確認する。(1時間) 復習: キャリア・カウンセリングの留意点を説明できるようにする。(2時間)						
13	なぜから始まる進路指導(応用編③)～進学指導(実業高校・進路多様校等)はどうするのか？～ 予習: 自分が受けた進学指導の長所・短所を整理する。(1時間) 復習: 進学指導を各種の高校ごとに留意点を整理する。(2時間)						
14	なぜから始まる進路指導(応用編④)～ポートフォリオを活用した進路指導はどうするのか？～ 予習: ポートフォリオを活用した進路指導の基本を整理する。(1時間) 復習: ポートフォリオを活用した進路指導の留意点を整理する。(2時間)						
15	なぜから始まる進路指導(まとめ)～キャリア教育・進路指導の課題と展望～ + 学習到達度の確認 予習: これまでの講義内容をふりかえり、参考点をまとめる。(2時間) 復習: キャリア教育・進路指導の課題と展望を整理する。(2時間)						
その他	講義では、「ワーク&シェア」を効果的に取り入れる。積極的・主体的な姿勢で臨むことを希望する。なお、「予習・復習」の時間はそれぞれ目安とする。						